

技アリ!  
トイレ事例 2

松元建設

リフォームセンター マツモト

● 宮崎県都城市

# シラス壁や杉フローリングで 温かみのあるトイレ空間に

## 思い出の残る梁をデザインに組み込む

施主の義父の家を本格的にリフォームするということで依頼があったリフォーム。古い木造住宅だったため老朽化や断熱など気になるが、出来るだけ古い材料も残して工事してほしいという要望だった。

「部屋を横切る梁が構造的に撤去出来なかったため、あえてあらわしとして残しました。また、古い材料と相性を合わせるために、塗り



Before

壁など自然素材を多く使用した内装仕上げとしています。ただ断熱や耐震性は向上するよう施工していきます」(福岡さん)  
塗り壁にガラスブロックやステンドグラスを施したシンブルな空間に、あらわしにした梁がアクセントとなった。また塗り壁にはリフォームの記念に家族の手形を押し工夫も。寒くて狭かったトイレが一転温かみのある空間に変わった。

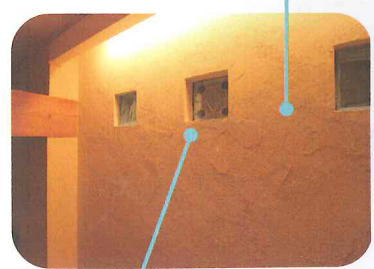
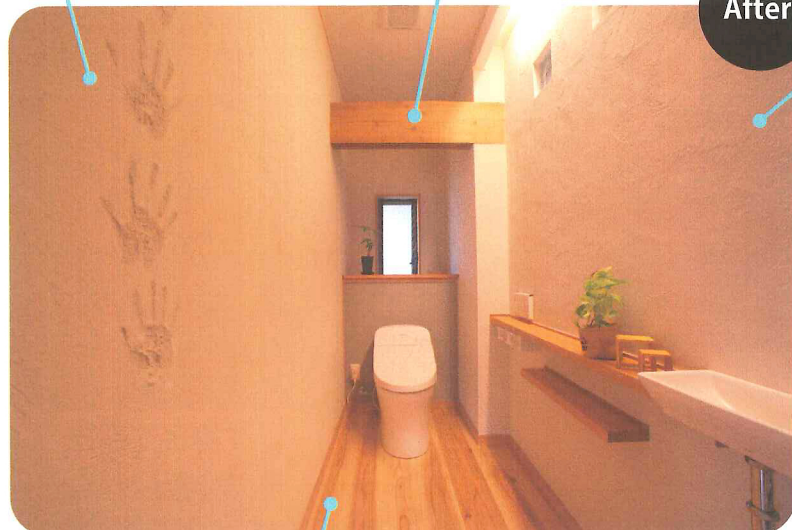


After

家族で押した手形が  
リフォームの記念に

あらわしの梁が  
アクセントに

高千穂シラスのシラス塗り壁  
で温かみのある空間に



間接照明の下に  
硝子ブロックでアクセント

杉のフローリング材を使用

### 塗り壁が単調にならないよう工夫

普段はローコストでありながら居心地の良い空間づくりを心掛けています。トイレ提案で良く使用しているのは杉の床材や天井材、シラス塗り壁などです。今回の事例では、塗り壁の壁が単調にならないように裏側の洗面所の灯りが入り込むようにデザインしました。



福岡亜矢さん

床は、シラス壁と相性の良い杉フローリングを使用。自然素材を使用し性能だけでなく見た目にも温かみのあるトイレ空間に。手洗器はTOTOの角型壁掛手洗器を使用している。

